



津軽海峡圏ビジネスの可能性①

# 新たなビジネスチャンスへ

津軽海峡圏を舞台に、官民を挙げてビジネスマッチングを図るための取り組みが進んでいます。ビジネスパートナーがお互いに知り合う機会を活かすことで、さまざまな可能性が広がっていきます。思いがけない出会いから、新たなビジネスチャンスが生まれるかも知れません。

北海道・青森県・北洋銀行・青森銀行

青函ビジネスマッチングを進める商談会

## 北海道産品取引商談会・青函コーナー

◎2014年6月10日～11日(札幌市)

道内外の流通企業関係者を対象とした、道内で生産・製造された商品の販路拡大を図るための道内最大の商談会「第30回北海道産品取引商談会」会場において、青函連携に係る取り組みの一環として「青函コーナー」が設置され、青森企業8社、道南企業6社が出展しました。展示商談会では、会場を訪れた約1700名の流通バイヤーに、青函エリアの事業者の商品を幅広く訴求しました。



北海道

道南の魅力的な食材を全国に発信する交流会

## 道南 食と観光のブランドフェア

◎2014年11月5日(函館市)

道南地域と道内外の流通・小売、飲食、観光業者などとのビジネスマッチングの機会として開催。参加企業50社・参加バイヤー50名程度の規模となった2014年度は、青森県内からも企業6社・バイヤー4名が参加し、青森県の百貨店による道南地域の企業の商品導入や道内百貨店による青森県内企業の商品導入など、津軽海峡圏の経済交流の拡大に結びつきました。



青森県

青森県と北海道の連携による商談会

## 青森の正直商談会(青函交流商談会)

◎2014年6月26日(青森市)

県内外の多くの食品関係バイヤーに広く青森県産品の魅力を発信し、販路拡大を図る商談会。参加企業111社、参加バイヤー等300名の規模となった2014年は、青函交流事業として道南企業10社、道内バイヤー4名が参加し、青森県の出展者及びバイヤーとのビジネスマッチングを展開しました。青森県の百貨店による道南企業の商品導入など、津軽海峡圏内の経済交流の拡大に結びつきました。



北洋銀行・青森銀行・  
新日本スーパーマーケット協会・  
(株)アークス

食の交流をテーマに商談会とフェアを開催

## 青函圏「食と観光」 活性化連携の取り組み

北洋銀行、青森銀行、新日本スーパーマーケット協会、アークスの4者は、青函圏の食材を使用した新たな食の開発や、北海道・青森県の両エリアに食品スーパーを展開しているアークスの店舗網等を活用した青函圏の食材の販路拡大に、連携して取り組んでいます。2014年10月、11月には、4者が連携して青函圏の食の交流を目的とした商談会を開催しました。

またアークスの子会社であるラルズ(本社札幌市、58店舗)、ユニバース(本社八戸市、54店舗)、道南ラルズ(本社函館市、17店舗)は、青函圏の旬の食材、特産品等を販売するフェアをそれぞれ開催。一部店舗には北海道新幹線開業をPRする為、キャラクターが来店しました。青函圏の商品を販売するフェアは、今後も3カ月に1回程度、開催する予定です。



道南食と観光クラスター型  
6次産業化推進協議会

地域の食文化を全国に発信してゆくプロジェクト

## みなみ北海道 「美食風土記」

「美食風土記」は、商品開発や体験観光などを通して道南地域の食文化を発信し、地域活性化を目指すプロジェクト。公益財団法人函館地域産業振興財団・北洋銀行・北海道大学・北海道渡島総合振興局で構成する協議会が、国土交通省の補助金を活用して地域づくり活動に対するアドバイスや支援を行ない地域資源の消費拡大へつなげるもので、2014年度は道南地域の特産品「がごめ昆布」を活用した商品開発やイベントなどを実施。9月に「海藻の収穫見学・加工体験ツアー」、年末には「がごめメニュー食べ歩き(市内13店舗が参加)」及びホテル朝食フェア「函館の朝食に海藻を」を開催しました。新たな体験型観光プログラムづくりや地域産品ギフトセットなど、産学官民の連携による6次産業化のモデルケースとして注目が集まっています。



函館商工会議所・青森商工会議所・弘前商工会議所

【函館×青森】会員事業所同士によるビジネスマッチ

## 会員事業所パートナー シップ構築懇談会

北海道新幹線開業を見据え、青函圏経済の活力強化を目指し、会員事業所間のビジネスチャンスの拡大を図ることを目的として開催されています。2013年から現在(2015年3月末)までに4回開催されており、菓子類をはじめとした青函連携商品開発の機会の提供や、商品の販路拡大、映像コンテンツの提携など、今後も多彩な成果が期待されます。



【函館×弘前】観光を軸とした広域連携への気運を醸成

## 津軽海峡 観光クラスター会議

函館と弘前による観光客誘致等の経済交流の実現を目指す事業連携で、商品開発やツアーの造成のほか、「はこだてスイーツフェスタ」への「弘前りんご王国のアップルパイ」店舗出店、「はこだてクリスマスファンタジー」での弘前工芸協会とはこだて工芸会の共同工芸展の開催など、ユニークな取り組みを実現させています。





津軽海峡圏ビジネスの可能性②

## 海を越えて広がる取り組み

函館で生まれたイベントが青森や弘前で開催され、弘前で生まれたコンテンツが函館にのれん分けされています。人々の心をつかむ取り組みが津軽海峡を越えて広がっています。



津軽海峡圏ビジネスの可能性③

## エリアをつなぐ新しい絆

企業連携による商品開発にとどまらず、津軽海峡圏での連携は多岐な方面に及びます。地元を盛り上げようという思いを持った人々の交流から、新しい可能性が生まれています。

### 函館で生まれた 人気イベントで 青森も盛り上がる

2004年に函館で開催された「スペイン料理フォーラム in HAKODATE」の前夜祭として誕生した「函館西部地区バル街」。函館を飛び出し、津軽海峡圏や全国へ広がりを見せています。



**函館西部地区バル街** 函館市  
**あおもりバル街** 青森市  
**弘前バル街** 弘前市

全国に広がる「バル街」での連携も深まっています。以前から料理人同士の交流があった青森市や弘前市の開催を、函館西部地区バル街実行委員会が支援したほか、2011年に函館市で行われた「バルまち会議」に青森市、弘前市、八戸市の商工関係者が出席。そして2015年春開催予定の函館西部地区バル街には、山形のイタリアンレストラン「アルケッチャーノ」の奥田政行シェフがプロデュースする「どうなん de's Ocuda Spirits」の特別出店が予定されています。同店は、北海道新幹線木古内駅前に建設される

「観光交流センター」で、道南食材中心のメニューを提供する予定のレストランです。「青函圏は、しよっぱい川を挟んだひとつの地域。新幹線開業後はまだ決まっていますが、新しいことができそうですね」と語る、函館西部地区バル街実行委員長・深谷さんの取り組みに、さらなる飛躍が期待されています。



### 路地裏にこそ その街ならではの 文化の花が咲く

メジャーな観光スポットに背を向け、バックストリートを突き進む「探偵」たち。観光客のニーズに応える旅は、ガイドブックに載っていない「路地裏」にありました。



**弘前路地裏探偵団** 弘前市  
**だいもん路地裏探偵団** 函館市

近年、旅先の土地の人情や文化に触れる「街歩き」観光が人気を集めています。その先駆けとして2010年3月に結成された「弘前路地裏探偵団」は、弘前ならではの生活文化やそのルーツを調査し、ガイドを行うボランティア集団です。ハンチング帽にサングラス、首にバンダナという探偵スタイルのガイドたちが、訪れた観光客をとっておきのスポットへ案内します。「路地裏を歩けばその街がわかる」をモットーに、市民が日常生活を営む街の中や路地裏に光を当てた活

動が高く評価され、県が表彰する「おもてなしアワード2014」で県知事賞に輝きました。2013年10月には、弘前から「のれん分け」の形で設立された「だいもん路地裏探偵団」が、函館市の中心市街地・大門地区で活動を開始。津軽海峡を挟んだ探偵たちの活躍の輪が広がっています。



### 共同制作番組 「弘前・函館 満喫 交換日記」

弘前と函館に住む人が、お互いの街の魅力を教えあう交換日記のような番組。ラジオならではの「街の空気感」の演出で、それぞれの街に興味を持つ人が増えています。



**FMいるか** 函館市  
**FMアップルウェーブ** 弘前市

新たな連携のかたちとして、コミュニティFM局の共同制作によるラジオ番組をご紹介します。2014年4月から、函館市の「FMいるか」と弘前市の「アップルウェーブ」がタッグを組んで、それぞれの番組内で10分間の共同企画コーナー「弘前・函館 満喫交換日記」をスタートさせました。街歩きをキーワードに、両市に住む人が交換日記をするように、週替わりで両地域を紹介するという設定の番組で、弘前地域では毎週土曜日午後2時から、函館地域では毎週日曜日午前9時45分

から放送されています。弘前市・函館市ともに街をよく知る人々がナビゲーターを務め、地元で隠れた名所や見どころ、イベント情報などを親しみやすく紹介しています。いきいきとした「街の空気感」をイメージさせる番組づくりで、リスナーからの反響も着実に増えてきています。



### 元気なマグロのような 女性たちのパワーで 地域の魅力を発信

泳ぎ続ける津軽海峡のマグロのように、次から次へとチャレンジを続ける女性たち。津軽海峡を挟んだ道南と青森県の女性たちが集結したアライアンス(同盟)。



**津軽海峡マグロ女子会**  
青森県 道南

道南のリーダー・杉本夏子さん(松前町)と、青森のリーダー・島康子さん(大間町)が出会い、意気投合したことがきっかけで誕生した「津軽海峡マグロ女子会」。北陸新幹線開業をアピールする女性ならではの視点と行動力で、津軽海峡圏の知られざる魅力を発信していくマグロ女子の活動に各方面から注目が集まっています。

江差、函館、青森、木古内と回り集える中、「おもてなしツアー」などの企画も生まれました。フェイスブックを活用して会員の活動を紹介します。地元を愛する女性ならではの視点と行動力で、津軽海峡圏の知られざる魅力を発信していくマグロ女子の活動に各方面から注目が集まっています。

